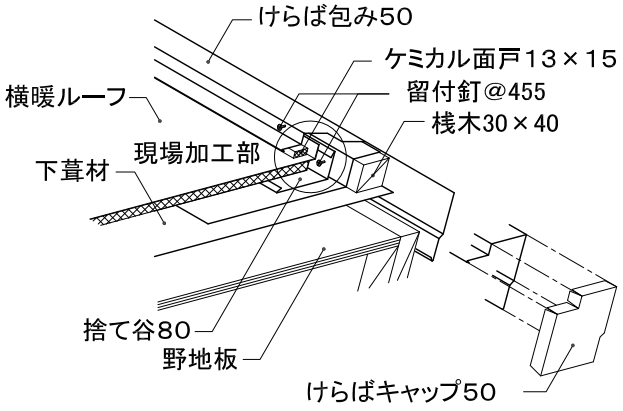
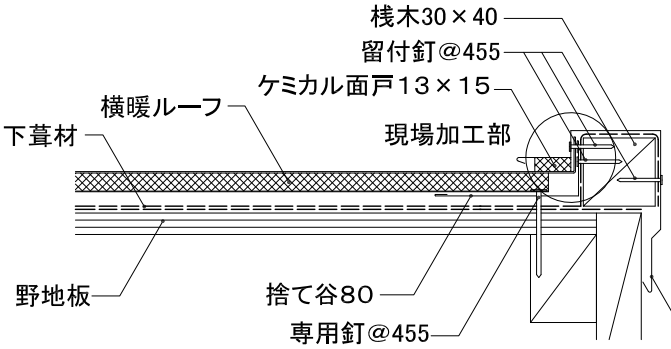
横暖ルーフ

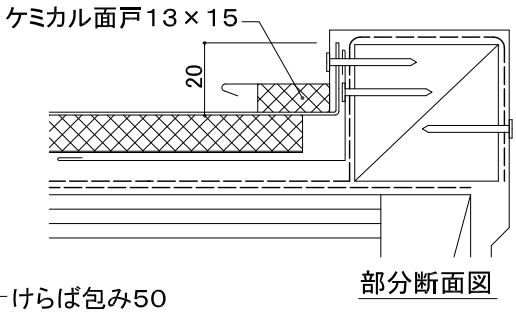
工 法	下 地	構造
新築	耐水合板	木造

4）けらば部　　②けらば包み50

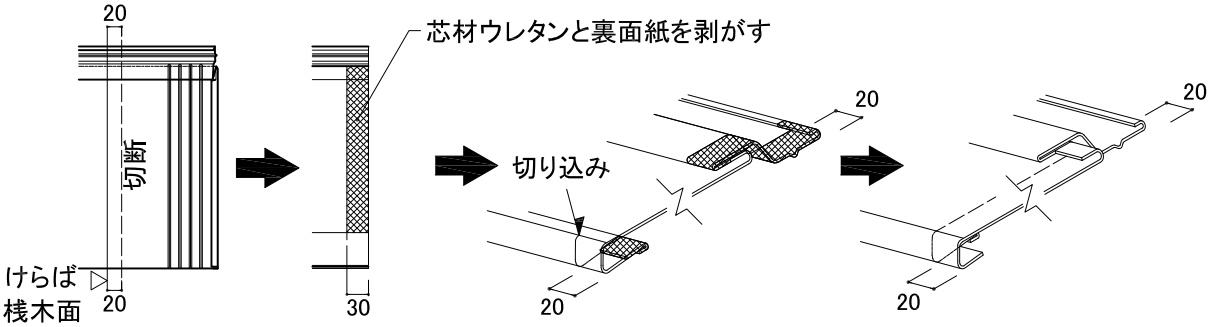
○野地板の上に下葺材を張ってください。
○けらば部に桟木30㎜×40㎜を取り付け、桟木を包むように下葺材を増し張りしてください。
○捨て谷80は留付釘（ステンレススクリュー釘長さ32㎜以上）を、455㎜以下の間隔で桟木に留め付けてください。
○本体の図の位置にケミカル面戸13×15を貼り付け、けらば包み50をかぶせるように施工し、留付釘（ステンレススクリュー釘長さ32㎜以上）を用いて、455㎜以下の間隔で桟木に留め付けてください。
○軒先端部の仕上げは、けらばキャップをリベットまたは留付釘（ステンレススクリュー釘長さ32㎜以上）で桟木に留め付けてください。





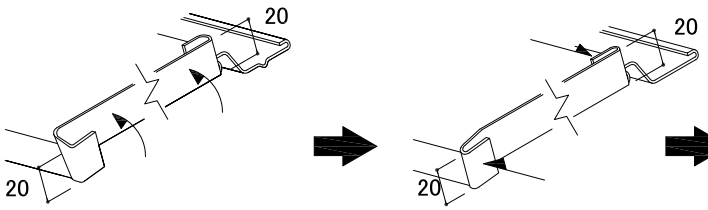


■施工ポイント・現場加工図
○横暖ルーフ本体のけらば部分は図のように加工してください。



①けらば桟木面から図の寸法で切断します。

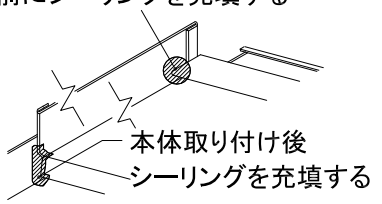
②網掛け部分を切り落とします。



③切り込みを入れた部分から垂直に起こします。

④Rの部分をつぶします。

次の横暖ルーフα本体の取り付け前にシーリングを充填する



⑤接合部から雨水の浸入を防ぐためシーリングを充填してください。